

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404

水・花火の事故を防いで

楽しい夏休みを過ごそう

1. 水の事故から身を守る

夏になると、海、川やプールなど水に親しむ機会が多くなります。同時に、1年の中で最も水の事故が多くなる季節でもあります。

水による事故は、一瞬の気の緩みや不注意から起こります。水のあるところには、事故の危険性があることを忘れずに、周囲の人が気を配り、事故を未然に防ぐようにしましょう。

●事故を防ぐ環境づくりを

乳幼児はもちろん、子どもたちは危険かどうかの判断ができません。日ごろから子どもの行動に先回りして、事故にならない環境の整備を心掛けましょう。実際に危険な場所を見せて教えておくのも、事故を未然に防止する一つの方法です。

●海、川やプールなどで遊ぶときは

- ・ 天気が良くても河川が増水している時は入らない。
- ・ 釣りをする時は、ライフジャケットを身につける。
- ・ 保護者は、子どもから目を離さない。
- ・ 飲酒しているとき、体調の悪いときは、海や川などに入らない。



2. 花火の事故から身を守る

夏の風物詩「花火」。花火は大人も子どもも手軽に楽しむことができます。一方で、花火による事故も毎年多く起こっています。

花火は楽しい反面、火や火薬を用いることから危険が伴うため、取り扱いには注意が必要です。次のことに注意して、花火を楽しみましょう。



●花火をするときの注意点

- ・ 花火のパッケージや本体に書いてある注意事項をよく読んで守る。
- ・ 花火を人や家に向けて使用したり、燃えやすい物があるところで使用したりしない。
- ・ 点火にはマッチやライターを使わず、ローソクを使用する。
- ・ 手持ち花火は持つところに注意する。
- ・ 打ち上げ花火は絶対にのぞき込まない。
- ・ 風が強いときは花火をしない。
- ・ 消火用の水は必ず用意し、残り火は完全に消す。
- ・ 一度にたくさんの花火に火をつけない。
- ・ 花火を分解したり、混ぜたりしない。
- ・ 子どもだけで決して遊ばない。